

## 足立区「ゲートキーパー研修」【東京都足立区】

(実施主体) 東京都足立区

(基金事業メニュー) 人材育成事業

(実施期間) 平成 23 年度～24 年度

(実績額) 平成 23 年度 722 千円

### 【事業の背景・必要性・目的】

足立区では、国の「健康日本 21」(平成 12 年)を受けて、平成 14 年 3 月に「健康あだち 21 行動計画」を策定した。この中で実現したい目標として自殺者数の減少を挙げ、うつ病予防など、こころの健康を中心とした事業を行ってきた。しかし、平成 18 年には自殺者数が東京都 23 区で最も多くなるなど、総合的な対策の必要に迫られていた。そこで平成 20 年 10 月から、「足立区こころのいのちの相談支援事業」を開始した。悩みを抱えている区民に対して、地域が連携して支援する都市型自殺対策モデルの構築を目指し、自殺に追い込まれない社会づくりに取り組んでいる。

さらに、都市型モデルの柱の一つとして「気づく つながる いのちを守る」をキャッチフレーズに、当事者の悩みに気づき、相談等につなげる人材を育成するゲートキーパー研修を進めている。研修は悩みを抱えた人が訪れることの多い区の窓口職員から始め、関係機関職員や地域へと段階的に対象を拡大している。どの窓口でも相談者の SOS に気づき、複数の相談窓口と連携することにより、課題解決に導くことができるようになることを目指している。

### 【事業の内容】

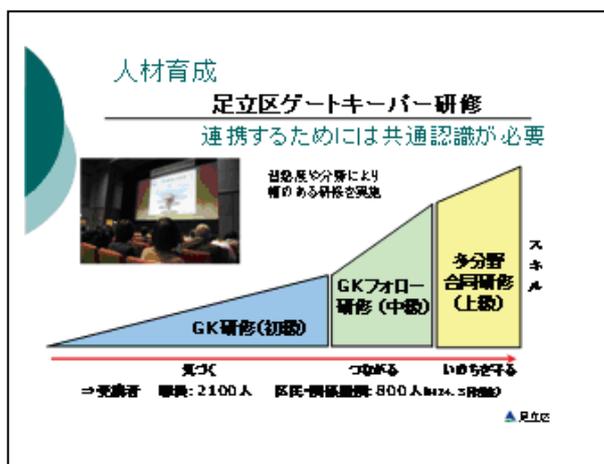
#### 【ゲートキーパー研修概要】

- 初級：自殺への偏見をなくし、自殺のサインに気づけるようになる研修
- 中級：自殺のサインに気づき、相談窓口等につなぐことができるようになる研修
- 上級：自殺のサインに気づき、関係機関と連携していのちを守ることができるようになる研修

◆対象：全職員、民生・児童委員、健康づくり推進員、区民、関係機関（弁護士会、税理士会、行政書士会、社会保険労務士会、消防署、警察署、ハローワーク等）

◆段階的な対象者の拡大：平成 20 年度開始当初には、庁内連絡会担当者向け、21 年度は区長や区議会議員を含む管理職向け、22 年度は係長級職員へと研修を行ってきた。平成 23 年度からは、職員研修を担当する人材育成課と連携し、全職員必修研修としてゲートキーパー研修（初級）を実施している。さらに、平成 24 年度からは、ゲートキーパー研修（中級）を管理・監督者の必修研修として実施し、気づく人材養成をさらに強化する予定である。

地域においては、相談業務に関わる民生・児童委員に協力をいただいて、全員研修と位置づけ研修を行うとともに、専門相談業務を行っている士業会（弁護士会、税理士会等）にも拡大して研修を実施している。また、23 年度は参加者の門戸を広げるため、夜間実施や研修のインターネット配



## 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する取組

信などの工夫を行った。

◆ゲートキーパー手帳：ゲートキーパー活動の羅針盤として活用できるよう、足立区版ゲートキーパー手帳を作成し、研修テキストにも使用している。手帳には相談者の対応が一目でわかるフローチャートや具体的な言葉かけ等を掲載している。



写真：足立区版ゲートキーパー手帳  
足立区ホームページからダウンロード可能

### 【事業実施に当たっての運営体制等】

ゲートキーパー研修は、こころといのち支援担当が企画・運営を行っている。職員を対象とする研修に関しては人材育成課、民生・児童委員を対象とする研修に関しては福祉管理課民生係と連携し協力を得ながら実施している。また、ゲートキーパー上級研修では、自殺対策において協定を結んでいるNPO法人ライフリンクの協力を得て企画を行っている。

### 【事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点】

ゲートキーパー研修を区職員研修に位置づけることにより、計画的な人材育成が可能となった。また、民生・児童委員や足立区士業会（弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士など）への研修により地域での気づきの輪を広げることが可能となった。

平成23年における足立区の自殺者数は145人（警察庁自殺日居住地暫定値）となり、22年に比べて約21%減となった。暫定値ではあるが、数値が減ってきていることは、ゲートキーパー研修を始めとする自殺対策「生きる支援」の成果が実を結び始めてきているのではないかと期待しているところである。

### 【研修を受講した職員の感想】

- 自殺を自分とはあまり関係ないことだと思っていたが、研修を受けて身近なものとして真剣に考えるきっかけになった。自殺に対する認識が変わった。
- 私たち職員も自殺対策に取り組むゲートキーパーの一員として、しっかり自覚を持って区民の方に接していきたいと思います。
- 大変内容の濃い貴重な学びとなりました。今後は「まさか」から「もしや」の視点を持って職務に励みたいと思います。自分にできることから始めたいと思いました。



写真：ゲートキーパー研修

## 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する取組

(問合せ先) 東京都足立区保健予防課 ころといのち支援担当

TEL:03-3880-5432

E-mail:h-yobou@city.adachi.tokyo.jp

URL : <http://www.city.adachi.tokyo.jp>